

齊藤茂吉全集

第十七卷

齋藤茂吉全集

第十七卷

第十九回配本（全三十六巻）

齋藤茂吉全集 第十七巻

定價 千八百圓

昭和四十九年七月十三日 発行

著者 齋藤茂吉

発行者 岩波雄二郎

東京都千代田區一ツ橋二丁目五番五號
株式会社 岩波書店

發行所 印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・亂丁本はお取替いたします

© 齋藤茂太 1974

柿本人麿

三

目次

評釋篇卷之下

自序

人麿歌集評釋	九
柿本朝臣人麿歌集	九
一 成立・地理分布・歌數	九
二 人麿歌集論諸說（徳川時代）	三
三 人麿歌集論諸說（現代）	二
四 人麿歌集私觀	六
五 書體	六
六 異傳	七
七 影響・流傳	三
八 長歌・旋頭歌	四二

萬葉集卷二・三所出歌

〔卷二・四六〕 幸子紀伊國時見結松歌

四六

〔卷三・三四四〕 「三吉野之御船乃山爾」

五〇

萬葉集卷七所出歌

〔卷七・一〇六六〕 詠天

五一

〔卷七・一〇八七〕 詠雲 (1)

五五

〔卷七・一〇八八〕 詠雲 (1)

五六

〔卷七・一〇九一〕 詠山 (1)

五九

〔卷七・一〇九三〕 詠山 (1)

七四

〔卷七・一〇九四〕 詠山 (3)

七五

〔卷七・一一〇〇〕 詠河 (1)

七八

〔卷七・一一〇一〕 詠河 (1)

七八

〔卷七・一一〇八〕 詠葉 (1)

八一

〔卷七・一一〇九〕 詠葉 (1)

八二

〔卷七・一一一七〕 羽旅 (1)

八七

〔卷七・一二四七〕 羽旅 (1)

八八

目次

〔卷七・二四八〕	羈旅（三）	九三
〔卷七・二四九〕	羈旅（四）	九六
〔卷七・二五〇〕	羈旅（五）	九六
〔卷七・二五六〕	就所發思（一）	100
〔卷七・二六九〕	就所發思（11）	101
〔卷七・二七一〕	行路	105
〔卷七・二七二〕	「劍後鞞納野邇」（旋頭歌）	107
〔卷七・二七三〕	「住吉波豆麻君之」（旋頭歌）	111
〔卷七・二七四〕	「住吉出見濱」（旋頭歌）	115
〔卷七・二七五〕	「住吉小田莉爲子」（旋頭歌）	117
〔卷七・二七六〕	「池邊小櫻下」（旋頭歌）	119
〔卷七・二七七〕	「天在日賣苔原」（旋頭歌）	121
〔卷七・二七八〕	「夏影房之下邇」（旋頭歌）	126
〔卷七・二七九〕	「梓弓引津邊在」（旋頭歌）	129
〔卷七・二八〇〕	「擊日刺宮路行丹」（旋頭歌）	130
〔卷七・二八一〕	「君爲手力勞」（旋頭歌）	131

- [卷七・二八四] 「橋立倉椅山」（旋頭歌） 一三八
- [卷七・二八三] 「橋立倉椅川」（旋頭歌） 一三九
- [卷七・二八四] 「橋立倉椅川」（旋頭歌） 一四三
- [卷七・二八五] 「春日尙田立蘿」（旋頭歌） 一四五
- [卷七・二八六] 「開木代來背社」（旋頭歌） 一四六
- [卷七・二八七] 「青角變依網原」（旋頭歌） 一五
- [卷七・二八八] 「水門葦末葉」（旋頭歌） 一五五
- [卷七・二八九] 「垣越犬召越」（旋頭歌） 一五七
- [卷七・二九〇] 「海底奥玉藻之」（旋頭歌） 一六〇
- [卷七・二九一] 「此岸草苺小子」（旋頭歌） 一六一
- [卷七・二九二] 「江林次完也物」（旋頭歌） 一六四
- [卷七・二九三] 「丸雪降遠江」（旋頭歌） 一六七
- [卷七・二九四] 「朝月日向山」（旋頭歌） 一七〇
- [卷七・二九五] 寄衣（一） 一七三
- [卷七・二九七] 寄衣（二） 一七五
- [卷七・二九八] 寄衣（三） 一七六

目次

〔卷七・三〇九〕	寄玉（一）	[八]
〔卷七・三〇〇〕	寄玉（二）	[八四]
〔卷七・三〇一〕	寄玉（三）	[八七]
〔卷七・三〇二〕	寄玉（四）	[八九]
〔卷七・三〇三〕	寄玉（五）	[九一]
〔卷七・三〇四〕	寄木（一）	[九四]
〔卷七・三〇五〕	寄木（二）	[九六]
〔卷七・三〇六〕	寄花	[九八]
〔卷七・三〇七〕	寄川	[一〇一]
〔卷七・三〇八〕	寄海（一）	[一〇三]
〔卷七・三〇九〕	寄海（二）	[一〇四]
〔卷七・三一〇〕	寄海（三）	[一〇八]
萬葉集卷九所出歌		[一一一]
〔卷九・一六二〕	獻忍壁皇子歌	[一一一]
〔卷九・一六三〕	獻舍人皇子歌（一）	[一一五]
〔卷九・一六四〕	獻舍人皇子歌（二）	[一一九]

〔卷九・一六八五〕	泉河邊間人宿禰作歌(一)	三三
〔卷九・一六八六〕	泉河邊間人宿禰作歌(二)	三三
〔卷九・一六八七〕	鷺坂作歌	三八
〔卷九・一六八八〕	名木河作歌(一)	三八
〔卷九・一六八九〕	名木河作歌(二)	三八
〔卷九・一六九〇〕	高島作歌(一)	三八
〔卷九・一六九一〕	高島作歌(二)	三八
〔卷九・一六九二〕	紀伊國作歌(一)	四〇
〔卷九・一六九三〕	紀伊國作歌(二)	四一
〔卷九・一六九四〕	鷺坂作歌	四四
〔卷九・一六九五〕	泉河作歌	四五
〔卷九・一六九六〕	名木河作歌(一)	四五
〔卷九・一六九七〕	名木河作歌(二)	五一
〔卷九・一六九八〕	名木河作歌(三)	五一
〔卷九・一六九九〕	宇治河作歌(一)	五一
〔卷九・一七〇〇〕	宇治河作歌(二)	五一

目次

〔卷九・一七〇一〕 献弓削皇子歌(一)	二六一
〔卷九・一七〇一〕 献弓削皇子歌(二)	二六六
〔卷九・一七〇三〕 献弓削皇子歌(三)	二六八
〔卷九・一七〇四〕 献舍人皇子歌(一)	二六八
〔卷九・一七〇五〕 献舍人皇子歌(二)	二七一
〔卷九・一七〇六〕 舍人皇子御歌	二七三
〔卷九・一七〇七〕 鶯坂作歌	二七六
〔卷九・一七〇八〕 泉河邊作歌	二七八
〔卷九・一七〇九〕 献弓削皇子歌	二八〇
〔卷九・一七一〇〕 元仁歌(一)	二八六
〔卷九・一七一一〕 元仁歌(二)	二八八
〔卷九・一七一二〕 元仁歌(三)	二九〇
〔卷九・一七一三〕 絹歌	二九一
〔卷九・一七一四〕 島足歌	二九一
〔卷九・一七一五〕 麻呂歌	二九四
〔卷九・一七一六〕 献弓削皇子歌	二九七

〔卷九・一七八〕 獻舍人皇子歌（一）	500
〔卷九・一七八〕 獻舍人皇子歌（二）	501
〔卷九・一七八〕 與妻歌	503
〔卷九・一七八〕 妻和歌	504
〔卷九・一七九〕 宇治若郎子宮所歌	513
〔卷九・一七九〕 紀伊國作歌（一）	517
〔卷九・一七九〕 紀伊國作歌（二）	518
〔卷九・一七九〕 紀伊國作歌（三）	519
〔卷九・一七九〕 紀伊國作歌（四）	521
萬葉集卷十所出歌	524
〔卷十・一八二〕 春雜歌（一）	524
〔卷十・一八三〕 春雜歌（二）	526
〔卷十・一八四〕 春雜歌（三）	528
〔卷十・一八五〕 春雜歌（四）	531
〔卷十・一八六〕 春雜歌（五）	533
〔卷十・一八七〕 春雜歌（六）	534

目次

〔卷十・八八八〕	春雜歌（七）	三四六
〔卷十・八九〇〕	春相聞（一）	三四七
〔卷十・八九一〕	春相聞（二）	三四九
〔卷十・八九二〕	春相聞（三）	三四一
〔卷十・八九三〕	春相聞（四）	三四四
〔卷九・八九四〕	春相聞（五）	三四五
〔卷十・八九五〕	春相聞（六）	三四七
〔卷十・八九六〕	春相聞（七）	三四九
〔卷十・九九六〕	七夕（一）	三四一
〔卷十・九九七〕	七夕（二）	三四二
〔卷十・九九八〕	七夕（三）	三四三
〔卷十・九九九〕	七夕（四）	三四六
〔卷十・一一〇〇〇〕	七夕（五）	三四〇
〔卷十・一一〇〇一〕	七夕（六）	三四一
〔卷十・一一〇〇二〕	七夕（七）	三四二
〔卷十・一一〇〇三〕	七夕（八）	三四三

〔卷十・100四〕	七夕（九）	三六八
〔卷十・100五〕	七夕（十）	三七〇
〔卷十・100六〕	七夕（十一）	三七一
〔卷十・100七〕	七夕（十二）	三七二
〔卷十・100八〕	七夕（十三）	三七三
〔卷十・100九〕	七夕（十四）	三七四
〔卷十・101〇〕	七夕（十五）	三七五
〔卷十・101一〕	七夕（十六）	三八一
〔卷十・101二〕	七夕（十七）	三八二
〔卷十・101三〕	七夕（十八）	三八三
〔卷十・101四〕	七夕（十九）	三八四
〔卷十・101五〕	七夕（二十）	三八五
〔卷十・101六〕	七夕（二十一）	三九一
〔卷十・101七〕	七夕（二十二）	三九二
〔卷十・101八〕	七夕（二十三）	三九三
〔卷十・101九〕	七夕（二十四）	三九四

目次

[卷十・1010]	七夕(一十五)	三九
[卷十・1011]	七夕(二十六)	三九
[卷十・1011]	七夕(二十七)	四〇
[卷十・1013]	七夕(二十八)	四〇
[卷十・1014]	七夕(二十九)	四〇
[卷十・1015]	七夕(三十)	四〇
[卷十・1016]	七夕(三十一)	四〇
[卷十・1017]	七夕(三十二)	四〇
[卷十・1018]	七夕(三十三)	四〇
[卷十・1019]	七夕(三十四)	四一
[卷十・1019]	七夕(三十五)	四一
[卷十・1019]	七夕(三十六)	四一
[卷十・1011]	七夕(三十七)	四六
[卷十・1011]	七夕(三十八・庚辰年作)	四七
[卷十・1014]	詠花(一)	四八
[卷十・1015]	詠花(二)	四九

〔卷十・二七八〕	詠黃葉 (一)	四三
〔卷十・二七八〕	詠黃葉 (1)	四六
〔卷十・二七九〕	詠雨 (一)	四六
〔卷十・二七九〕	秋相聞 (一)	四三〇
〔卷十・二七九〕	秋相聞 (1)	四三一
〔卷十・二八〇〕	秋相聞 (三)	四三一
〔卷十・二八〇〕	秋相聞 (四)	四三一
〔卷十・二八一〕	秋相聞 (五)	四六
〔卷十・二八一〕	冬雜歌 (一)	四六
〔卷十・二八一〕	冬雜歌 (1)	四九
〔卷十・二八二〕	冬雜歌 (三)	四一
〔卷十・二八二〕	冬雜歌 (四)	四三
〔卷十・二八三〕	冬相聞 (一)	四五
〔卷十・二八三〕	冬相聞 (1)	四五
〔萬葉集卷十一所出歌		四九
〔卷十一・二五二〕	「新室壁草刈邇」(旋頭歌)	四九